ネットワークボード

恵比寿には、毎年秋に街を上げてのお祭りがあります。その名も「恵比寿文化祭」。今年も10月7日～9日の3日間、恵比寿ガーデンプレイスを中心に様々な団体やＮＰＯ、企業、個人が参加して開催されます。『恵比寿の、恵比寿による、恵比寿のための文化祭。恵比寿文化祭の目標は、文字通り”恵比寿”というまち全体の文化祭になること。まちの人々に開かれた”場”をつくり、多彩多様な恵比寿の「顔」が集い触れ合うことで、まちと人・人とまちとがつながっていく。恵比寿というまちに、住み、学び、遊び、働く、そんな人々が集い、まちの歴史や、新しい文化に触れる、いつも新しい出会いのある「まちの文化祭」です。』（公式ホームページより）。もちろん私たちぱれっとも参加します。ぜひ皆さんでお出かけください！　（編集部）

恵比寿文化祭2017

10/7sat 8sun 9mon

こども大活躍

会場：恵比寿ガーデンプレイス及び周辺

☆工房ぱれっとワークショップ

七日(土)ガーデンプレイスシャトー広場

☆ぱれっとサンシャインダンス出演

八日(日)午後二時四十五分頃ー　中央ステージ

恵比寿ガーデンプレイスへはJR恵比寿駅東口から動く歩道（スカイウォーク）が便利です。

こんにちは　理事長です

絵：河合真里

今回は、SNS（ソーシャルネットワークサービス）の弊害についてお話ししたいと思います。世の中では、携帯電話普及率が75%、20代～40代では9割を超えています。併せてスマートフォンが主流となり、相手との連絡手段にメールやラインといったSNSが一般的となっています。たまり場ぱれっとの利用者やボランティアも例外ではなく、黒電話やポケベルが主流だった我々学生時代の頃など想像できないくらい個人とのコミュニケーション手段が大きく様変わりしています。相手との言葉での会話自体が衰退化し、文字でのやり取りが優先されることで、誤解や誇張が生じ、人間関係にひずみが出るケースがあります。

たまり場ぱれっとは、自己実現の場として今も利用者とボランティアが共に仲間として活動しています。その仲間づくりが、コミュニケーション手段の弊害で問題ケースが増えてきています。携帯やメールなどでの会話が簡単に取れる一方、相手にしっかりと伝えるという意識や努力が欠け、結果的に取り返しのつかない状況まで人間関係を複雑にしています。「人間関係作りとは何か」を、もう一度振り返る必要が出てきているのではないでしょうか。

認定ＮＰＯ法人ぱれっと　理事長　相馬宏昭